

2017年度通期 決算説明会資料

2018年5月9日

ブラザー工業株式会社

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

◆ 2017年度 決算実績	P3 ~ P8
◆ 2018年度 業績予想	P9 ~ P11
◆ 事業別の状況	P12~P16
◆ 設備投資/償却費/ 研究開発費	P17
◆ 株主還元	P18
◆ 事業別詳細情報	P19~P26

◆ 売上収益 7,130億円/ +11.2%**P&S事業/マシナリー事業が牽引し、過去最高の売上を達成**

- ✓ プリンティング製品の本体販売がグローバルで好調に推移
- ✓ 産業機器は、自動車・一般機械向け/IT関連向けとも好調に推移し、前年比7割増

◆ 事業セグメント利益 772億円/ +27.1%**◆ 営業利益 687億円/ +16.1%****産業機器の大幅増益と為替のプラス影響により、過去最高益を更新**

- ✓ P&S事業の事業セグメント利益率は12.8%（約+1%アップ）となり、収益力強化が着実に進む

◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益 500億円/ +5.9%**資産売却益のあった14年度を除き、実質過去最高益を更新**

2017年度通期の売上収益は7,130億円となりました。
会計基準の差はありますが、日本基準なら約8,000億に等しいくらいの数字で、実質過去最高の売上となりました。

主力のP&S事業は、本体の販売が順調に推移しており、グローバルでマーケットシェアも拡大しました。
産業機器も自動車・一般機械向けに様々な製品を投入してきた効果により、順調に推移しております。
加えて、IT関連向けの大口受注の影響もあり、事業全体では前年比7割増とかなり大きな伸びとなりました。

事業セグメント利益は772億（+27.1%）・営業利益687億（+16.1%）となり、利益面でも過去最高益を更新しました。
中でもプリンティング & ソリューションズの事業セグメント利益率は12.8%となり、中期戦略で収益力強化事業と位置付けたとおり、高い利益率を実現しております。

親会社の所有者に帰属する当期利益は500億（+5.9%増）となり、こちらも2014年度にあった資産売却益の計上による一時的な利益の押し上げの影響を除けば、実質過去最高益となりました。

2017年度通期 連結業績概要

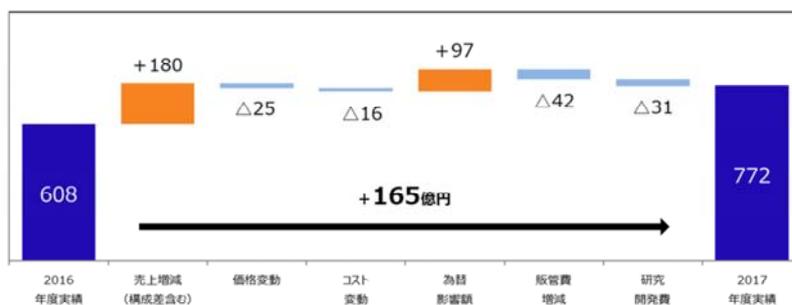


単位：億円

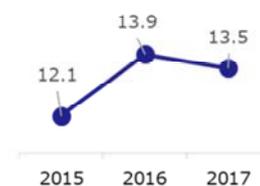
	16年度	17年度	増減額	増減率 ○は異質増減率	前回予想	増減額
売上収益	6,412	7,130	718	11.2% (+7.4%)	7,000	130
事業セグメント利益	608	772	165	27.1%	725	47
事業セグメント利益率	9.5%	10.8%			10.4%	
営業利益	592	687	95	16.1%	660	27
営業利益率	9.2%	9.6%			9.4%	
税引前利益	613	697	84	13.7%	655	42
親会社の所有者に帰属する当期利益	472	500	28	5.9%	485	15
USD	109.03	110.81			110.97	
EUR	119.37	129.45			127.63	

事業セグメント利益増減分析

単位：億円



ROEの推移 (%)



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4

こちらが昨年度との比較になります。

先ほども説明しましたとおり、事業セグメント利益は772億円となり、前年比 165億円の大幅な増益となりました。ユーロが約10円の円安となったことによる為替のプラス影響が97億円あったほか、産業機器が大幅な増収となったマシナリー事業の利益が大幅な増益となり、業績に大きく貢献しました。

営業利益は687億円となり、前年比95億円の増益となりました。主に為替予約に係る評価損が増加したことにより、その他収益・費用がネットで70億円減少しましたが、過去最高益を更新しました。

2017年度通期 事業セグメント別実績



単位：億円

売上収益	16年度	17年度	増減率	為替影響を除く増減率	前回予想	増減率
全社	6,412	7,130	11.2%	7.4%	7,000	1.9%
プリンティング & ソリューションズ	3,836	4,122	7.4%	2.9%	4,059	1.5%
パーソナル & ホーム	444	445	0.1%	-4.1%	454	-2.1%
マシナリー	909	1,273	40.0%	37.8%	1,227	3.7%
ネットワーク & コンテンツ	497	491	-1.4%	-1.4%	494	-0.7%
ドミノ	594	684	15.2%	10.0%	670	2.1%
その他	131	116	-11.4%	-11.4%	96	21.1%

事業セグメント利益	16年度	17年度	増減率	前回予想	増減率
全社	608	772	27.1%	725	6.5%
プリンティング & ソリューションズ	457	529	15.9%	497	6.4%
パーソナル & ホーム	20	20	-2.8%	22	-10.0%
マシナリー	62	144	133.5%	127	13.6%
ネットワーク & コンテンツ	22	27	20.3%	25	6.5%
ドミノ	42	46	11.1%	48	-3.3%
その他	7	7	5.6%	6	22.7%
調整額	△ 2	△ 1	-	-	-

営業利益	16年度	17年度	増減率	前回予想	増減率
全社	592	687	16.1%	660	4.0%
プリンティング & ソリューションズ	455	474	4.0%	455	4.1%
パーソナル & ホーム	19	11	-44.1%	13	-19.2%
マシナリー	60	141	136.3%	128	10.4%
ネットワーク & コンテンツ	9	13	57.2%	20	-32.9%
ドミノ	44	40	-8.4%	42	-4.8%
その他	7	9	20.2%	2	350.5%
調整額	△ 2	△ 1	-	-	-

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

5

こちらはセグメントごとの状況です。

2017年度第4四半期 連結業績概要

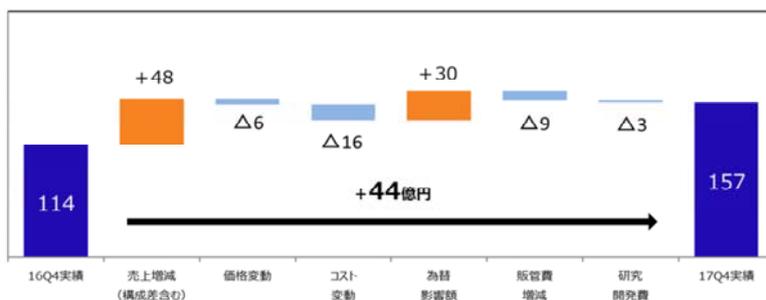


単位：億円

	16Q4	17Q4	増減額	増減率 ()は実質増減率
売上収益	1,643	1,788	145	8.8% (+7.0%)
事業セグメント利益	114	157	44	38.3%
事業セグメント利益率	6.9%	8.8%		
営業利益	118	156	38	31.8%
営業利益率	7.2%	8.7%		
税引前利益	124	159	36	28.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	86	112	26	30.4%
USD	113.76	108.85		-
EUR	120.81	132.96		

事業セグメント利益増減分析

単位：億円



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

6

2017年度第4四半期の第売上収益は1,788億円となり、前年からプラス8.8%、145億円の増収となりました。為替を除いた実質ベースでは、約116億円の増収となります。通期業績と同様に、レーザー複合機・プリンターの製品本体の販売が、モノクロ・カラーともグローバルで好調だったことに加え、産業機器もIT関連・自動車/一般機械向けとも好調だったことが、主な要因です。

事業セグメント利益は157億円となり、前年比44億円の増益となりました。ユーロが約12円の円安となったことによる為替のプラス影響が30億円あったほか、産業機器が堅調だったマシナリー事業の利益が増益となり、業績に大きく貢献しました。

営業利益は156億円となり、前年比38億円の増益となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は112億円となり、前年比26億円の増益となりました。

2017年度第4四半期 事業セグメント別実績

brother
at your side

単位：億円

売上収益	16Q4	17Q4	増減率	為替影響を除く 増減率
全社	1,643	1,788	8.8%	7.0%
プリンティング & ソリューションズ	985	1,023	3.9%	2.3%
パーソナル & ホーム	102	101	-1.2%	-1.3%
マシンリー	246	332	35.1%	34.5%
ネットワーク & コンテンツ	122	120	-2.0%	-2.0%
ドミノ	157	183	16.8%	9.3%
その他	31	29	-6.6%	-6.6%

事業セグメント利益	16Q4	17Q4	増減率
全社	114	157	38.3%
プリンティング & ソリューションズ	77	104	34.5%
パーソナル & ホーム	4	4	-3.2%
マシンリー	20	30	49.8%
ネットワーク & コンテンツ	3	5	56.8%
ドミノ	8	14	73.5%
その他	1	0	-88.3%
調整額	△ 0	△ 0	-

営業利益	16Q4	17Q4	増減率
全社	118	156	31.8%
プリンティング & ソリューションズ	95	120	26.9%
パーソナル & ホーム	3	1	-74.9%
マシンリー	15	29	98.5%
ネットワーク & コンテンツ	0	△ 6	-
ドミノ	4	12	160.4%
その他	1	1	-17.4%
調整額	△ 0	△ 0	-

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

こちらはセグメントごとの状況です。

	16年度末	17年度末	増減	
流動資産	3,452	3,666	214	ネット・キャッシュ 16年度末：▲256億円 17年度末：+ 49億円
現預金	1,120	1,214	94	
棚卸資産	1,124	1,170	45	
非流動資産	3,289	3,416	128	
負債合計	3,124	2,958	-166	株主資本比率 16年度末：51.2% 17年度末：55.8%
有利子負債	1,376	1,164	-211	
株主資本	3,451	3,955	505	
総資産	6,741	7,083	342	

棚卸資産推移
(億円)



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

続いて財務の状況についてです。

17年度末の総資産は7,083億円となり、前期末比で342億円の増加となりました。株主資本は3,955億円となり、株主資本比率は55.8%となり、前期末比4.6%の上昇となりました。また有利子負債の削減を進めたことで、17年度末でネット・キャッシュへと回復しました。

在庫につきましても、安定的に推移しております。

◆ 売上収益 6,900億円/▲3.2%

IT関連の受注が未確定なことに加え、為替のマイナス影響やIFRS15号適用による影響により減収を見込む

◆ 事業セグメント利益 710億円/▲8.1%

産業機器が減収となる影響及び為替のマイナス影響により減益を見込む

◆ 営業利益 700億円/ +1.9%

過去最高益を更新し、通期の利益率が初めて10%を超える見通し

◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益 520億円/ +4.0%

米国法人減税の影響もあり、過去最高益を更新する見通し

ここからは2018年の業績予想のポイントを説明します。

ご覧のとおり、減収とはなるものの、営業利益・親会社当期利益は増益を見込んでおります。

	17年度	18年度予想	増減額	増減率 ()は実質増減率
売上収益	7,130	6,900	△ 230	-3.2% (-1.6%)
事業セグメント利益	772	710	△ 62	-8.1%
事業セグメント利益率	10.8%	10.3%		
営業利益	687	700	13	1.9%
営業利益率	9.6%	10.1%		
税引前利益	697	700	3	0.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	500	520	20	4.0%
USD	110.81	107.00		
EUR	129.45	128.00		

IFRS15号適用による影響（約▲54億円の減収要因）

顧客への支払いで、顧客の売上増に関与するもの（販促費等）は原則「売上控除」となり、従来広告宣伝費や販売促進費に計上していた費用の多くが**売上から控除**される。

売上収益は前期比230億円の減収となる 6,900億円、
事業セグメント利益は62億円の減益となる 710億円、
営業利益は13億円の増益となる 700億円、
親会社当期利益は20億円の増益となる520億円 となる見込みです。

売上収益が減収となるポイントは、
IT関連の受注が未確定であることにより、産業機器を減収で見込んでいたこと、
為替前提を17年度実績に比べ円高に設定したことによるマイナス影響を織り込んだこと、
IFRS15号の適用により、従来は販管費として計上していた費用が売上の控除項目となること、
の3点です。

事業セグメント利益は、産業機器の減収によりマシナリー事業を減益でみていることに加え、
為替のマイナス影響を20億円程度みこんでおります。

営業利益については、その他営業外損益が前期に比べ減少することにより、増益となる見込みです。
これにより、親会社当期利益も増益を見込んでおります。

2018年度通期 事業セグメント別予想



単位：億円

売上収益	17年度	18年度予想	増減率	為替影響を除く増減率
全社	7130	6900	-3.2%	-1.6%
プリンティング & ソリューションズ	4122	3935	-4.5%	-2.2%
パーソナル & ホーム	445	449	1.0%	4.4%
マシンリー	1273	1153	-9.4%	-8.3%
ネットワーク & コンテンツ	491	490	-0.1%	-0.1%
ドミノ	684	735	7.5%	5.5%
その他	116	138	18.7%	18.6%

事業セグメント利益	17年度	18年度予想	増減率
全社	772	710	-8.1%
プリンティング & ソリューションズ	529	498	-5.8%
パーソナル & ホーム	20	30	51.4%
マシンリー	144	116	-19.6%
ネットワーク & コンテンツ	27	24	-9.9%
ドミノ	46	40	-13.8%
その他	7	2	-72.8%
調整額	△ 1	-	-

営業利益	17年度	18年度予想	増減率
全社	687	700	1.9%
プリンティング & ソリューションズ	474	489	3.3%
パーソナル & ホーム	11	30	185.3%
マシンリー	141	117	-17.2%
ネットワーク & コンテンツ	13	21	56.3%
ドミノ	40	40	0.0%
その他	9	3	-66.7%
調整額	△ 1	-	-

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

11

こちらはセグメントごとの予想です。

業績予想 億円 ; IFRS



主な経営課題と施策

通信・プリンティング機器	SOHO プレゼンス堅持	◆ SOHO市場でのシェアの維持・拡大 ◆ 消耗品大容量化モデルのラインアップ強化による収益性の拡大
	SMB拡大	◆ MPSや契約型ビジネスなど、地域ごとの状況に合わせたソリューションビジネスの展開
	新興国拡大	◆ インクタンクモデルの拡販や、収益性の高い製品構成へのシフト
電子文具	ソリューション ビジネス拡大	◆ 製品ラインアップの充実により、オフィス・小売り・物流など、さまざまなニーズへの対応



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

続いて、各事業の今年度のポイントです。

P&S事業は、収益力の維持・拡大を目指し、ご覧のような取り組みを進めて参ります。

まず、SOHO市場向けにおいては、18年1月に投入したモノクロレーザーの新製品の競争力を活かし、シェアの維持・拡大を図ります。また、インクジェット製品についても、より収益性の高いモデルへのシフトにより、収益性の拡大を目指します。

SMB分野については、小型のLBPの特性を活かした分散化ソリューションなど、各地域やチャネル構成に合わせた展開を進めることで、成長を目指してまいります。

新興国においては、インクタンクモデルの拡販により、収益性の高い製品構成へのシフトを進めて参ります。

電子文具においても、小売りや物流などのビジネス用途向けの拡大により、ソリューションビジネスを拡大させてまいります。

これらにより、売上収益は若干の減収となるもの、営業利益は増益となる見通しです。

業績予想 億円 ; IFRS



主な経営課題と施策

家庭用ミシン	<p>ミシン事業の売上・利益改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高級機での新モデル投入
クラフト	<p>クラフト事業の成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ユニークな新モデル投入 ◆アクセサリやコンテンツの拡販 ◆新規チャネル獲得による販路拡大



刺しゅうミシン
イノヴィスVF1



カッティングマシン
CM650W

P&H事業は、ブラザーの強みである高級機市場での競争力強化により、増収・増益を目指します。また、クラフト事業も、新製品や新規チャネルの獲得により、安定的な成長を目指します。

業績予想 億円 ; IFRS



主な経営課題と施策

工業用ミシン	販売力とソリューション提案力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆プログラム式電子ミシンなど、特殊機の拡販 ◆自動化・IoTに対応した新製品やサービスの開発 ◆ガーメントプリンターのさらなる拡販
産業機器	自動車関連市場の顧客基盤を拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◆国内外の拠点強化 ◆戦略商品の拡販活動の強化
工業用部品	売上の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◆需要拡大が見込めるロボット市場向け歯車の拡販などによる売上の拡大



ガーメントプリンター GTX



複合加工機 SPEEDIO M140X2



コンパクトマシニングセンタ SPEEDIO S1000X1

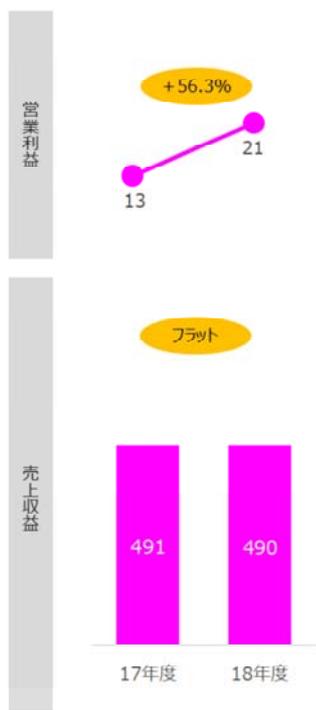
マシナリー事業は、IT関連の受注が未確定であることにより、産業機器を減収で見込んでいることを受け、事業全体でも減収・減益となる見通しです。

工業用ミシン事業は、需要が堅調な本縫いミシンの売上拡大に加え、自動機や特殊機、IoT対応の強化などを進めてまいります。また、ガーメントプリンターのさらなる拡販も進めてまいります。

産業機器は、自動車関連顧客向けの売上拡大のための取り組みを継続してまいります。IT関連については、現時点では見通しが未確定であるため予想には一部しか織り込んでおりませんが、引き続き需要動向を注視してまいります。

工業用部品は、需要の拡大が見込めるロボット市場向けの歯車の拡販などにより、売上の拡大を目指してまいります。

業績予想 億円 ; IFRS



主な経営課題と施策

通信カラオケ	<p>業務用カラオケ機器の安定稼働</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ JOYSOUND MAX2などの競争力の高いモデルの拡販
店舗事業	<p>店舗事業の収益力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ QSCの継続や人材育成による店舗力の向上 ◆ 新規出店による収益力の拡大
タイチク	<p>再成長ステージへ向かうための収益体質確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ヒット曲創出へのチャレンジ ◆ ライブやイベントなど、ビジネス領域の拡大



JOYSOUND MAX2



JOYSOUND 響

N&C事業は、業務用カラオケ機器の安定稼働、店舗改善の継続による収益力の強化などにより、安定的な売上・利益の維持を目指します。

18年度は、売上収益はほぼ前年並みとなる見通しですが、17年度に計上した減損損失がなくなることにより、営業利益は増益となる見通しです。

業績予想 億円 ; IFRS



主な経営課題と施策

C&M	継続的な チャンネル投資	◆ チャンネル投資の継続により、トップラインは力強い成長を継続
	開発の強化	◆ 5か年計画達成を見据えた開発の前倒しと、ブラザーの開発リソースとの協業による開発効率化の実現
デジタル印刷機	製品競争力 強化	◆ 競争力の高い製品投入に向け、プロジェクトを強化



ドミノ事業は、コーディング・マーキング機器については、営業・サービス体制の強化を継続し、グローバルで市場を上回る成長を目指します。

開発強化についても、内部で定めた5か年計画達成のために、開発の前倒しや、ブラザー工業の開発リソースとのコラボレーションによる効率化の実現などを目指していきます。

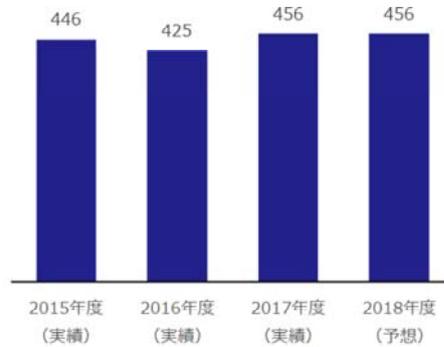
デジタル印刷機についても、営業・サービス体制の強化に加え、競争力の高い製品投入のための開発プロジェクトの強化を進めてまいります。

利益については、新しくできたリバプールや中国の工場の償却費や、開発の前倒しによる影響などで、前年並みの水準となる見通しですが、成長が期待される市場の中で、市場成長率を上回る伸びを実現していくためにも、長期的目線で成長戦略を取っていきたく考えています。

設備投資・減価償却費（億円）



研究開発費（億円）



事業別設備投資内訳

	16年度	17年度	18年度
P&S	108	152	126
P&H	9	9	16
マシナリー	46	36	51
N&C	45	65	58
ドミノ	46	46	36
その他	33	33	48
計	286	340	336

事業別研究開発費内訳

	16年度	17年度	18年度
P&S	311	315	300
P&H	23	29	27
マシナリー	42	48	56
N&C	7	9	6
ドミノ	23	35	42
その他	19	21	25
計	425	456	456

設備投資は、17年度に比べ、主にP&S事業の金型投資が減少するものの、マシナリー事業での設備投資が増えることもあり、全体では前期比4億円減の336億円となる見通しです。

減価償却費については、17年度の設備投資増加の影響により、前期比18億円の増加となる359億円となる見通しです。

研究開発費については、17年度と同水準の456億円を見込んでおります。

～連結配当性向30%を目安に、長期安定的な増配を実現～

17年度の一株当たり年間配当は（6円の増配となる）年間54円、
18年度は年間60円の配当を実施する方針



17年度期末配当は、前回の予想から6円の増配となる1株当たり30円へと増額修正を行います。これにより、年間配当は54円となります。

18年度も、連結配当性向30%を目安とし、17年度から6円の増配となる1株当たり60円の配当を実施する予定です。

参考データ：
事業セグメント情報

プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・事業セグメント利益



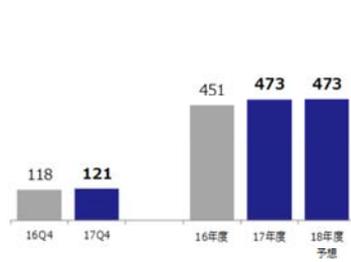
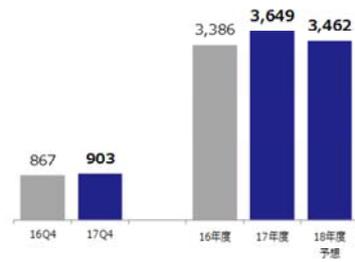
単位：億円

	16Q4	17Q4	増減率	高経影響 除く増減率	16年度	17年度	増減率	高経影響 除く増減率	18年度 予想	対前年 増減率	高経影響 除く増減率
売上収益	985	1,023	3.0%	2.3%	3,836	4,122	7.4%	2.0%	3,935	-4.5%	-2.2%
通信・プリンティング機器	867	903	4.1%	2.4%	3,386	3,649	7.8%	3.2%	3,462	-5.1%	-2.8%
米州	330	328	-0.5%	3.3%	1,283	1,335	4.1%	1.4%	1,263	-5.4%	-1.1%
欧州	286	319	11.9%	2.7%	1,076	1,192	10.8%	2.1%	1,155	-3.1%	-2.0%
アジア他	133	140	4.0%	4.3%	546	616	12.8%	8.2%	615	-0.1%	2.3%
日本	118	115	-2.7%	-2.7%	480	505	5.2%	5.2%	428	-15.2%	-15.2%
電子文具	118	121	2.2%	1.0%	451	473	4.9%	0.5%	473	0.1%	2.5%
米州	57	52	-9.0%	-5.2%	214	212	-1.1%	-3.5%	209	-1.4%	2.8%
欧州	34	40	17.1%	7.4%	132	146	10.9%	2.3%	148	1.1%	2.2%
アジア他	16	17	9.0%	7.9%	66	76	14.9%	10.1%	75	-0.8%	1.6%
日本	11	12	3.6%	3.6%	39	39	0.2%	0.2%	41	5.6%	4.4%
事業セグメント利益	77	104	34.5%	-	457	529	15.9%	-	498	-5.8%	-
営業利益	95	120	26.9%	-	455	474	4.0%	-	489	3.3%	-

<売上収益> 通信・プリンティング機器

<売上収益> 電子文具

<営業利益>



プリンティング&ソリューションズ事業
主要製品別売上伸び率・構成比



	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	17通期	18通期
LBP						
売上伸び率（円ベース/前年比）						
本体	13%	24%	23%	11%	17%	-8%
消耗品	-1%	2%	9%	1%	3%	-3%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）						
本体	12%	15%	15%	10%	13%	-6%
消耗品	-2%	-8%	2%	-1%	-2%	0%
IJP						
売上伸び率（円ベース/前年比）						
本体	3%	15%	3%	-1%	4%	-1%
消耗品	4%	3%	13%	3%	6%	-6%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）						
本体	3%	6%	-3%	-2%	1%	1%
消耗品	4%	-5%	6%	1%	1%	-5%
消耗品比率	57%	57%	56%	58%	57%	58%
販売台数伸び率（実績のみ/前年比）						
LBP	13%	9%	10%	3%	9%	-
IJP	-7%	-5%	-9%	3%	-5%	-

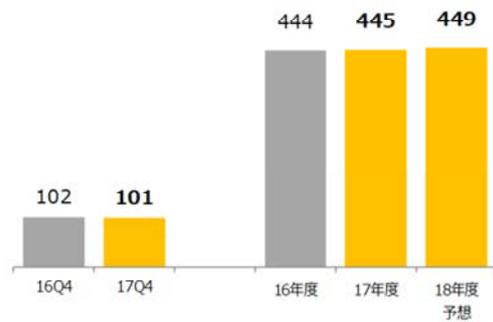
パーソナル&ホーム事業 売上収益・事業セグメント利益

brother
at your side

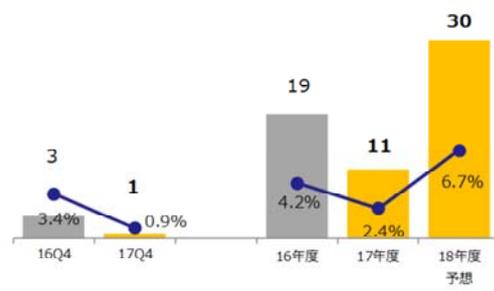
単位：億円

	16Q4	17Q4	増減率	為替影響 除く増減率	16年度	17年度	増減率	為替影響 除く増減率	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	102	101	-1.2%	-1.3%	444	445	0.1%	-4.1%	449	1.0%	4.4%
米州	54	50	-6.9%	-2.5%	253	240	-5.0%	-7.0%	240	-0.2%	4.0%
欧州	23	26	10.9%	0.8%	96	113	17.8%	7.5%	115	2.0%	3.8%
アジア他	13	13	4.6%	3.6%	55	55	0.6%	-3.3%	58	5.4%	6.1%
日本	13	12	-5.4%	-5.4%	41	36	-10.5%	-10.5%	36	-0.9%	-0.6%
事業セグメント利益	4	4	-3.2%	-	20	20	-2.8%	-	30	51.4%	-
営業利益	3	1	-74.9%	-	19	11	-44.1%	-	30	185.3%	-

<売上収益>



<営業利益>



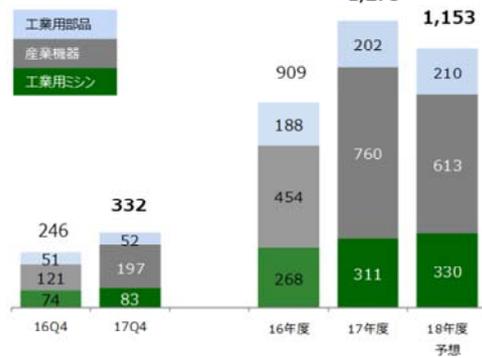
マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益



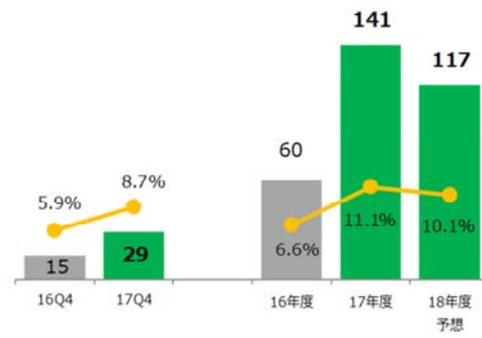
単位：億円

	16Q4	17Q4	増減率	為替影響 除く増減率	16年度	17年度	増減率	為替影響 除く増減率	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	246	332	35.1%	34.5%	909	1,273	40.0%	37.8%	1,153	-9.4%	-8.3%
工業用マシン	74	83	11.8%	11.3%	268	311	16.0%	12.0%	330	6.1%	9.1%
産業機器	121	197	63.4%	62.5%	454	760	67.6%	66.0%	613	-19.4%	-19.0%
工業用部品	51	52	2.0%	2.2%	188	202	7.4%	6.6%	210	4.0%	4.8%
事業セグメント利益	20	30	49.8%	-	62	144	133.5%	-	116	-19.6%	-
営業利益	15	29	98.5%	-	60	141	136.3%	-	117	-17.2%	-

<売上収益>



<営業利益>



マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益（地域別）

brother
at your side

単位：億円

	16Q4	17Q4	増減率	為替影響 除く増減率	16年度	17年度	増減率	為替影響 除く増減率	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	246	332	35.1%	34.5%	909	1,273	40.0%	37.8%	1,153	-9.4%	-8.3%
工業用マシン	74	83	11.8%	11.3%	268	311	16.0%	12.0%	330	6.1%	9.1%
米州	13	15	15.2%	20.0%	54	64	17.5%	14.0%	68	6.0%	11.0%
欧州	10	17	80.3%	63.9%	41	63	51.1%	38.4%	64	2.8%	4.3%
アジア他	50	48	-3.4%	-2.2%	167	178	6.8%	4.3%	191	7.3%	10.5%
日本	1	2	44.3%	44.3%	6	7	17.2%	17.2%	7	-0.6%	-1.4%
産業機器	121	197	63.4%	62.5%	454	760	67.6%	66.0%	613	-19.4%	-19.0%
米州	6	10	65.6%	-	27	33	21.2%	-	38	16.4%	-
欧州	6	10	63.1%	-	21	30	43.8%	-	33	9.1%	-
アジア他	90	152	69.2%	-	334	608	82.2%	-	442	-27.4%	-
日本	19	25	35.1%	-	72	89	24.2%	-	100	12.5%	-
工業用部品	51	52	2.0%	2.2%	188	202	7.4%	6.6%	210	4.0%	4.8%
米州	7	6	-17.8%	-14.2%	26	25	-5.5%	-7.6%	26	6.8%	10.6%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	5	5	5.9%	2.4%	17	20	18.9%	13.2%	23	13.6%	15.9%
日本	39	41	5.2%	5.2%	145	157	8.4%	8.4%	160	2.3%	2.4%
事業セグメント利益	20	30	49.8%	-	62	144	133.5%	-	116	-19.6%	-
営業利益	15	29	98.5%	-	60	141	136.3%	-	117	-17.2%	-

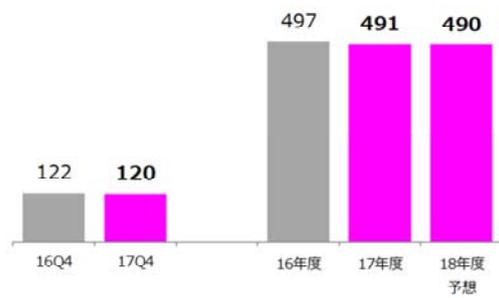
ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益



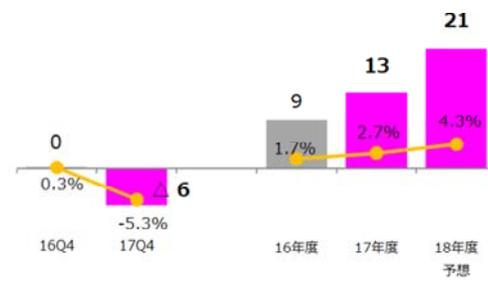
単位：億円

	16Q4	17Q4	増減率	16年度	17年度	増減率	18年度 予想	対前年 増減率
売上収益	122	120	-2.0%	497	491	-1.4%	490	-0.1%
事業セグメント利益	3	5	56.8%	22	27	20.3%	24	-9.9%
営業利益	0	△ 6	-	9	13	57.2%	21	56.3%

<売上収益>



<営業利益>



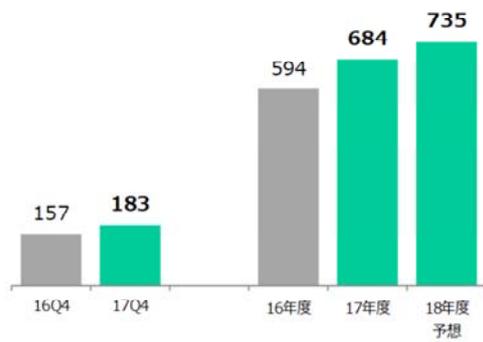
ドミノ事業 売上収益・事業セグメント利益

brother
at your side

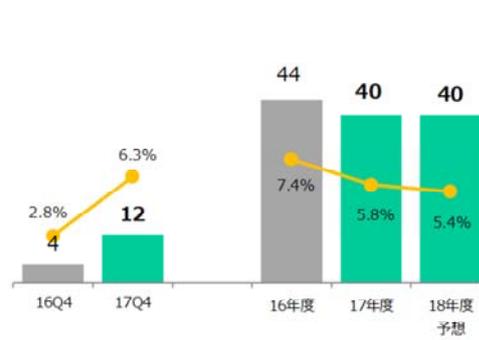
単位：億円

	16Q4	17Q4	増減率	為替影響 除く増減率	16年度	17年度	増減率	為替影響 除く増減率	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	157	183	16.8%	9.3%	594	684	15.2%	10.0%	735	7.5%	5.5%
米州	41	38	-6.0%	-12.0%	150	159	6.0%	1.4%	176	10.6%	8.9%
欧州	74	97	30.9%	22.5%	283	337	19.3%	14.2%	351	4.1%	2.8%
アジア他	42	48	13.7%	6.4%	161	187	16.7%	11.9%	207	10.5%	9.2%
事業セグメント利益	8	14	73.5%	-	42	46	11.1%	-	40	-13.8%	-
営業利益	4	12	160.4%	-	44	40	-8.4%	-	40	0.0%	-

<売上収益>



<営業利益>



brother
at your side